

事業所名

神宮前ぽっぽ

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

27日

法人（事業所）理念		地域の「困っているを支えるために」、常に寄り添い、事業所の運営や療育支援を行う。 「楽しい!」、「行きたい!」と子ども達が思えるような居場所を作る。						
支援方針		・療育を通して、日常生活に必要な動作方法や集団生活に必要な力をより伸ばしていくことを目標に支援を行う。 ・子ども一人一人の遊びを豊かにすることや将来の自立に向けた力を伸ばしていくことを目標とし、ご家族が安心して生活を送ることができるように療育を通して支援を行う。						
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・基本的な生活スキルの獲得、向上を目指す。 ・日頃から細やかに健康状態のチェックや観察、把握を行う。 ・感染症予防や安全への配慮の支援を行う。 ・子ども一人一人の特性を理解した上で、支援を行う。						
	運動・感覚	・活動を通して、体力向上と感覚統合を促進し、身体のコントロールを支援する。 ・様々な身体感覚を刺激し、運動機能、バランス感覚、距離感などの発達を促し、向上を目指す。 ・作業療法士による定期的なりハビリの実施を行い、個々に合わせた動作の基本的技能の向上などを目指す。						
	認知・行動	・日付や曜日、スケジュール、送迎、友達や職員の把握など、視覚的にわかるように提示し、概念の習得や行動力の向上を図る。 ・視覚や聴覚、触覚などの感覚を使い、認知能力の発達を目指す。						
	言語 コミュニケーション	・一人一人の発達段階に合わせたコミュニケーションツール（言葉、文字、サイン、絵カード等）を活用し、適切な意思の伝達ができるように支援を行う。 また、言語の理解力や表現力の向上を目指し、他者と円滑にコミュニケーションをとることができるように支援を行う。						
	人間関係 社会性	・友達や職員との関わりを通して、やりとりや関わる楽しさ、関係性の構築を目指す。また、社会的マナーやルールを身につけることができるように支援を行う。 ・将来の自立に向けた必要な力、所作、行動などを身につけていくことができるように支援を行う。						
家族支援		・面談や日頃からの送迎時、電話や連絡ツール(LINE)などを通じて、子どもの進捗状況を共有し、家庭での支援方法などのアドバイスを行う。 ・子育てに関する困り事や気になる事などのご家族から寄せられた相談に対し、親身に寄り添い支援や援助を行う。 ・保護者の方向士が交流をすることのできる場の提供を行う。			移行支援		・卒業後やその他、移行先にスムーズに移行ができるように、各関係機関との情報共有を行い、連携を図る。	
地域支援・地域連携		・各関係機関（相談支援事業所、学校、他事業所等）との連携を図る。 ・敦賀市の自立支援協議会（療育部会）や通所事業所連絡会に積極的に参加をし、ネットワークの構築、連携を図る。			職員の質の向上		・内部研修の実施（法人内や事業所内） ・外部研修への参加 ・日頃からのミーティングにおいて、職員間で子ども一人一人の状況を共有、支援の方向性の統一を図る。	
主な行事（活動）等		季節の制作やイベント、感覚遊び、運動遊び、調理実習、買い物体験、カラオケ店でのカラオケ、公共交通機関の乗り物体験、公共施設での工作、ピザ作り、パン作り体験など						